



### ベトナムの風景（下）

最近、観光地で人力車をよく見かける。乗り物を兼ねた観光ガイ

車の役割を果たしているのが人力車だ。先日、東京・浅草で

は若い女性の車夫を見かけたが、なかなか粋

である。新幹線や高速道路など早さを求める今日、人力車はなにかほっとするものがある。



ベトナムの人力車「シクロ」

ベトナムの人力車は「シクロ」といい、自転車の前に座席がついている。ハノイの旧市街で観光相手のシクロに乗ったが、シクロが一番似合うと感じたのは世界遺産にも登録されている中部の古都、ホイアンだ。十六世紀から十七世紀にかけて日本人町が存在したというホイアンはノスタルジックな歴史を感じさせる街で、シクロがよくマッチする。ホイアンでは観光客だすでなく一役



古都ホイアンの「日本橋」

市民がタクシーのように利用している。妻がベトナム伝統の衣装、アオサイがほしいというのでシクロに乗って専門店に出かけた。左半身が不自由な妻だけが乗り、私が横を小走りについていくと、運転手は自転車を降り、私に運転させてくれた。ホイアンの観光中心街は狭い道路の両側に二階建ての木造住宅が並び、昔の日本の遊郭街のようだ。日本人が

架けたという屋根付きの「日本橋」はホイアンのシンボルというからうれしい。ベトナムと日本はいろいろなものがあるが、似ているが、そのひとつが「盆栽」。ベトナム式盆栽「ホンノンボ」は鉢の中に自然を凝縮したようなものだ。水を張



旧正月を祝うキンカンの鉢植え

った鉢を海に見立てて、岩が島を想像させる。岩には小さな木をまきつけ、ところどころにミニチュアの観音像や五重塔が飾られている。そのミニチュアの陶器製品は日本ではじみのパッチャン焼が多いという。パッチャンはハノイから車で一時間弱の農村地帯にある。我が家にもオレンジ色の模様があるが、オレンジ色よりも青色のものの方が多くは初めて知った。ホンノンボ以外の盆栽は大きな鉢にいろいろな木が植えられている。

ベトナムは正月を旧暦で祝うが、今年訪れたのが旧正月の直前。鉢植えの桃、梅、キンカンを飾る習慣があり、バイクの後部座席に大きな鉢をしばりつけて持ち帰る風景をあちこちで見かけた。家族で鉢植えの木を囲んで旧正月を祝う、平和な風景である。大国に長い間、翻弄（ほんろう）され、戦争が続いたベトナム。この平和が長く続くことを祈りつつ、ベトナム巡礼記を終え、次回から先日訪れた「上海・蘇州・無錫巡礼」とする。（元山口放送取締役ラジオ局長）